

令和7年度環境ふくい推進協議会 総会、環境活動事例報告会 次第

日時：令和7年4月21日（月）

14時00分～15時15分

会場：福井県県民ホール（アオッサ8階）

○総 会

- （1）会長挨拶
- （2）福井県エネルギー環境部長挨拶
- （3）環境ふくい推進協議会功労者表彰式（設立30周年記念）
- （4）環境ふくい推進協議会会長表彰式
- （5）議 事
 - ・第1号議案 令和6年度事業報告について
 - ・第2号議案 令和6年度収支決算報告について
会計監査報告
 - ・第3号議案 令和7年度事業計画（案）について
 - ・第4号議案 令和7年度収支予算（案）について

○環境活動事例報告会

令和6年度「環境ふくい未来創造事業」助成者4団体の活動報告（動画）

- ・株式会社まちUPいけだ（池田町）
- ・あわらの自然を愛する会（あわら市）
- ・特定非営利活動法人 森林楽校・森んこ（おおい町）
- ・さとやま子育てコミュニティいけだのそら（池田町）

令和 7 年度 環境ふくい推進協議会 総 会



環境ふくい推進協議会

協議会の目的

協議会は、福井県内の環境保全活動にかかる多くの個人、事業者、各種団体、行政機関等の知恵と行動力を結集し、県民が一体となって進める環境保全に関する県民運動を実践することを目的とする。

会員数（令和 7 年 4 月 1 日）現在

個人	936人	企業	214社
団体	125団体	行政	18自治体

I 環境保全活動促進協働事業

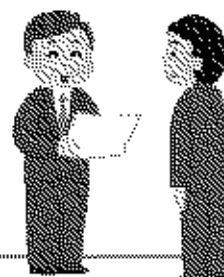
1 協議会会長表彰

◆個人4、団体6、学校1、企業1を表彰

・個人：朝日憲雄、藤田満雄、山岸稔、清水武正

・団体：まつもと輝きたい、横山を育てる会、日本野鳥の会福井県、
グループ山川田、郷の森里楽、環境シティズンシップ教育の会

・学校：福井市美山中学校 ・企業：二光技建設株式会社



2 ふくいまるごと環境学び舎

○より質が高く、効果の高い環境活動を行うため、環境について学ぶ講演セミナー等を開催する。

◆環境ふくい未来創造事業助成団体へのアドバイスを実施(随時)

◆会員向けセミナーを開催

日 時：令和7年1月27日(月)10:30～12:00

会 場：アオッサ6階 研修室607

テーマ：自然環境の変化とそれに伴う防災対策

講 師：鈴木アドバイザー、防災士 辻子裕二氏、救急救命士 編田宏幸氏) <参加者:41名>

3 環境マネジメント推進事業

○主に事業所の環境管理者等を対象に、環境に関する先進的取組を行っている企業の見学会等を実施する。

◆企業会員向けセミナー

日 時：令和6年12月9日(月)13:30～15:00

会 場：オンライン

講 師：福井県環境政策課、(一財)日本冷媒・環境保全機構(JRECO)

テーマ：フロン特定製品(オフィスエアコン、冷凍機など)管理者向け研修 <参加者:136名>

4 市町環境連携事業

○市町および市町の推薦する民間団体が企画する事業に対してその一部を助成することにより、県内一円の環境保全活動の活性化を図る。(福井市10万円、その他市町5万円)

◆10市町に助成

・越前市：アースデイえちぜん2024(5月19日(日))

・福井市環境推進会議：福井市環境フェア(6月29日(土))

・大野市：自然ふれあい探検隊事業(6月・9月)

・永平寺町：「環境ポスター」図画作品コンクール(10月8日(火)～10月30日(土))

・あわら市エコ市民会議：あわらの自然発見ツアー(10月12日(土))

・つるが環境みらいネットワーク：つるが環境フェア(11月23日(土))

・坂井市：エコアクションさかい 九頭竜川河口部清掃活動(11月24日(日))

・小浜市：木育ワークショップ(11月30日(土))

・勝山市消費者団地連絡協議会：消費者まつり(11月30日(土))

・南越前町：不法投棄防止啓発事業(3月1日(土)～3月25日(火))



5 こどもエコクラブ活動促進事業

○こどもエコクラブへの登録を呼びかけるとともに、活動しているクラブへの支援を行い活動の活性化を図る。

・助成団体数：3クラブ(福井市鷹巣小学校、坂井市立丸岡南中学校、おおい町立大島小学校)

・エコクラブ登録数:32クラブ、メンバー数:1,963人

・福井市鷹巣小学校5・6年『鷹巣の海を守り隊』が全国エコ活コンクールにて都道府県代表クラブに選出

6 SATOYAMA国内ネットワーク推進

○本県の里山里海湖における生物多様性の保全や利活用の活動を国内のネットワークを通じて県外へアピールする。

◆SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク

・幹事会 8月開催(書面)

7 親子で環境活動推進事業

○小学生の親子を対象に、「50の自然体験」に関連する自然体験イベントを実施する。

◆イベント:『三方五湖トレジャー!』

◆日 時: 10/13(日)《伝統漁法体験プログラム》
10/26(土)《生き物観察プログラム》 <参加者:計9組25名>

◆会 場:三方五湖周辺(若狭町)

◆主 管:一般社団法人 Switch Switch



8 プラスチックごみ削減推進事業

○近年大きな問題となっているプラスチックごみの削減のため、身近にできる取組事例の情報提供などを行うオンライン上映等を実施する。

◆11月23日(土・祝) 福井県生活学習館3階 映像ホール
映画『プラスチックの海』上映会を開催



9 ふくいの環境を守るための資格取得支援事業

○企業、団体会員が環境保全に関係する資格を取得する際の必要経費を補助する。

◆助成実績(申請:7企業・団体、23名のうち、助成:6企業・団体、17名)

- ・特定非常営利活動法人 森林楽校・森んこ: キャンプインストラクター、3R・気候変動検定
- ・特定非常営利活動法人エコプランふくい: 自然観察指導員、RACリーダー
- ・福井県自然観察指導員の会: 自然観察指導員
- ・Dream∞Lab: 環境管理士1級
- ・福井きのこ会: きのことアドバイザー
- ・信越半導体株式会社 武生工場: 大気関係第4種公害防止管理者

10 カーボンニュートラル普及推進事業【新規】

○会員をはじめ広く一般を対象にカーボンニュートラルカードゲーム体験会を提供する。
また、体験会に参加した会員がカードゲームファシリテーター資格を取得する際の費用を補助する。

◆カードゲーム体験会

【1回目】

・日 時: 令和6年8月1日(木) 14時~16時

・場 所: アオッサ7階 会議室706、707(ふくい県民活動・ボランティアセンター) <参加者:12名>

【2回目】

・日 時: 令和7年1月18日(土)14時~16時 ※ 対象:大学生、海ごみ拾い後に実施

・場 所: 坂井市 雄島コミュニティセンター <参加者:15名>



◆資格取得にかかる費用の助成

・助成金額: 2050カーボンニュートラル運営ライセンス費用助成 1件

第1回 体験会の様子

※カーボンニュートラル:二酸化炭素などの温室効果ガスの「排出量」から植林や森林管理等による「吸収量」を差し引いて、実質的にゼロにすること。

11 エコニュージェネ事業【新規】

○環境保全や省エネに参加する次世代人材の発掘、育成を行い、人材の循環を図る。

20～40代を中心としたワーキンググループを結成し、環境ふくい推進協議会が目指す、団体、企業、県民の環境活動が次世代にわたって持続できるような事業を検討し、提言としてまとめる。

◆メンバー：高井委員、大橋委員、正木委員、土田氏(㈱ハピラインふくい)、水口氏(水口木材㈱)

◆結 果：ワーキンググループを開催

第1回：課題の洗い出し(9/6)

第2回：課題をもとに解決方法、ありたい姿の検討(10/2)

第3回：具体的な事業検討と提言内容のまとめ(10/28)

➡ 第2回企画委員会にて報告(11/21)

12 設立30周年記念事業【新規】

○協議会設立より30周年を記念して、功労者の表彰や協議会事業を県内外へPRする。

◆30周年記念誌(みんなのかんきょう特別号)発行：12月上旬～中旬にかけて発送済(HPでも掲載中)

・会長や環境保全活動を行っている人たちへインタビュー

・地球環境問題への取り組みと協議会、県、世界の流れがわかる年表 等

◆功労者表彰：来年度総会にて表彰

・企画委員4期8年以上で現職：菅川委員、畑中委員

◆30周年記念会員証発行

・協議会ホームページから申請、事務局がPDFデータで送付

◆30周年PR：環境ふくい推進協議会ホームページのトップページに掲載済

・協議会のロゴに30周年である文言を加え、ホームページやチラシ、アプリ等で活用



30周年記念誌



30周年記念会員証



30周年ロゴ

Ⅱ 普及広報事業

1 情報誌発行事業

- ◆「みんなのかんきょう」を協議会会員、小・中・高等学校等に配布する
- ・12月上旬～中旬にかけて「みんなのかんきょう特別号(30周年記念誌)」を送送

2 ホームページ等による普及広報

- ◆ホームページやFacebookを活用し、お知らせやイベント情報を発信(随時)
- ・ホームページ累計閲覧数 21,812件
- ◆Facebook
- ・投稿回数 36回

3 メールマガジンの配信による普及広報

- ◆「イベントお知らせ編」 24回(3月末見込み)【毎月第2、4金曜日】
- ◆「法令編」 22回【随時】
- ◆「特別号」 8回【随時】※各種イベントにかかる参加者募集等

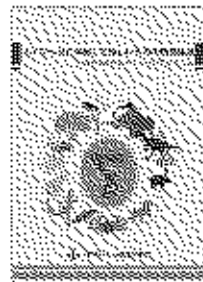


4 「ふくいっ子に体験してほしい50の自然体験」普及広報

- ◆冊子を印刷し、各小学校の新1年生に配布(6月27日)
- ◆デコ活ふくいテレビ番組(10/29放送回)にて紹介
- 親子で環境活動推進事業「三方五湖トレジャー」にて、参加した小学生に配布
- ◆環境アドバイザーへ冊子を配布
- アドバイザー活動の中で活用してもらうことで、子どもたちへの普及を図る



デコ活ふくいYouTube



5 各市町環境フェアにおける普及広報

- 県内で開催される各市町の環境フェアにブース等を出展し、環境について県民に考えてもらう機会を提供するとともに、協議会の周知を図る。

- ・5月19日(日) アースデイ越前2024(越前市)
- ・6月16日(日) さばえ環境フェア2024(鯖江市)
- ・6月29日(土) 福井市環境フェア(福井市)
- ・9月 7日(土) こどもエコひろば2024(坂井市)
- ・9月21日(土)～22日(日) さばえSDGsフェス(鯖江市)
- ・11月23日(土) つるが環境フェア(敦賀市)
- ・3月 2日(日) あわら市環境展(あわら市)

<出展内容>

- ・デコ活ふくいのPR



Ⅲ 県補助事業

1 環境アドバイザー派遣事業

○学校や自治会等が開催する研修会へ講師を派遣 97(講師 138人)

＜派遣分野＞

- ・自然体験：59件(82人)
- ・環境教室：38件(56人)

(参考：令和5年度実績)
104件(講師124人)



2 リペア・リユース推進事業

○壊れたものを修理して使う、いらなくなったものをほしい人に譲るなど、修理する文化、リサイクル文化の定着を目指した取組みを実施する。

11月4日(月・祝)ハビテラスにて、「わくわく！もったいないフェスタ2024」を実施。

◆修理ボランティアの人材育成

- ・洋服とぬいぐるみの修理を行うための技術を習得する講座の開催

11月4日(月・祝) 第1回 10:30～12:30、第2回 13:30～15:30

- ・おもちゃの修理技術を習得する講座の開催

12月8日(日)

◆古本市の開催

- ・古本市の開催(11月4日(月・祝))
- ・無人古本市の設置 ユーアイふくい、鶴陽会館



3 家庭の省エネ(デコ活)推進事業【拡充】

○家庭部門のCO₂排出削減に向けて、省エネ行動に対するポイントの付与や自らの行動によるCO₂削減効果の見える化などを通じ、家庭でできる身近な省エネ活動に楽しく取り組む県民運動の輪を広げていく。

◆県民運動を「デコ活ふくい」と題し、テレビや新聞、SNSなど、複数のメディアを通して普及啓発を実施

◆ふくecoアプリ運用開始 6月14日(金)～

- ・令和5年度に県で開発したスマートフォンアプリ「ふくeco」を活用し、デコ活ふくいの普及啓発を実施
- ・「ふくeco」では、情報発信やポイント付与、CO₂削減効果の見える化を行い、県民の省エネ行動の習慣化を図る。
- ・登録者数 7,409人(3月31日時点)

※デコ活：二酸化炭素を減らす(Decarbonation)と環境にいいエコ(eco)を含む“デコ”に活動・生活を組み合わせた 新しい言葉。

IV 特別会計

環境ふくい未来創造事業【拡充】

○県民・事業者等から提供された資金により、福井県環境基本計画を推進する活動を行う団体へ助成する。

◆第1回育成支援部会(7月10日(水))において申請団体によるプレゼンテーションを実施

◆第2回育成支援部会(3月19日(水))において助成団体からの事業報告を実施

◆令和6年度申請状況

- ・スタート応援枠(新しく事業を立ち上げる団体等への助成) 1団体申請
- ・共働活動応援枠(新たに他団体と共働して活動する団体等への助成) 3団体申請

<スタート応援枠> ※上限を10万円から20万円へ引き上げ

申請団体名 代表者名・所在地	普段の活動内容	助成を受けて行う活動の概要	助成 (円)
株式会社まちいけだ 代表 田崎 健治 池田町	・地域資源の活用と再発掘 ・地域商品と地域サービス展開 ・地域経済の開拓と創造 ・地域雇用の創出	【里の子たんけん隊】 ・ツリービクニックアドベンチャーいけだ園内を利用した親子対象自然体験活動およびイベントの開催 ・池田町内の団体、企業と連携したイベントの実施	18万 9千円

<共働活動応援枠> ※上限を30万円から50万円へ引き上げ

申請団体名 代表者名・所在地	普段の活動内容	助成を受けて行う活動の概要	助成 (円)
あわらの自然を愛する会 会長 河田勝治 あわら市	・調査活動及び保全活動 ・在来植物の育成 ・苗の配付および植栽 ・活動の広報と交流	【赤尾湿地を守り育て後世に遺そう】 ・赤尾湿地内での「自然観察会」「浮島体験会」の実施(あわら市内および坂井市内小学校対象事業) ・アシ村を利用したストーリーの体験制作会の実施(一般応募による事業) ※資金助成申請2年目	29万 1千円
特定非営利活動法人 森林楽校・森んこ 代表 萩原茂雄 おおい町	・社会教育の推進 ・まちづくりの推進 ・環境保全活動 ・子どもの健全育成を図る活動	【針葉樹林の里山林を広葉樹との混合林化にする】 ・植樹体験会、林内見学会の実施 ・事業の広報と活動情報発信の強化 ・野外学習用作業路の整備(学生との共働) ・人工林の間伐と広葉樹の植林 ※資金助成申請2年目	50万
さとやま子育てコミュニティ いけだのそら 代表 淵田真澄美 池田町	「子育てコミュニティ」 ・親子対象の自然体験の提供 「森のようちえん」 ・野外活動を中心とした保育活動	【子どもの森暮らし基地づくり】 ・小学生を対象としたイベントの開催(森も基地づくり・森のデッキづくり) ・活動フィールド内の作業路と活動場所の整備 ※資金助成申請2年目	50万

令和6年度 一般会計収支決算報告

第2号議案

収入の部

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	予算との比較
会費	2,400,000	1,736,500	△ 663,500
（１）個人会費	400,000	236,500	△ 163,500
（２）事業者会費	2,000,000	1,500,000	△ 500,000
負担金	3,400,000	3,400,000	0
（１）県	2,000,000	2,000,000	0
（２）市町	1,400,000	1,400,000	0
寄附金	0	0	0
繰入金	61,370	61,374	4
諸収入	0	0	0
繰越金	1,685,758	1,685,758	0
補助金	31,253,000	31,180,559	△ 72,441
計	38,800,628	38,064,691	△ 735,937

支出の部

項 目	予算額	決算額	予算との比較
運営費	700,000	527,998	△ 172,002
（１）総会費	300,000	203,064	△ 96,936
（２）諸会議費	150,000	104,371	△ 45,629
（３）事務費	250,000	220,563	△ 29,437
事業費	37,183,000	35,023,657	△ 2,159,343
Ⅰ 環境保全活動促進協働事業費	4,700,000	3,009,408	△ 1,690,592
（１）協議会会長表彰	200,000	184,996	△ 15,004
（２）ふくいまるごと環境学び会	800,000	725,360	△ 74,140
（３）環境マネジメント推進事業	500,000	52,240	△ 447,760
（４）市町環境連携事業	900,000	556,600	△ 343,400
（５）こどもエコクラブ活動促進事業	100,000	25,041	△ 74,959
（６）SAITAMA国内ネットワーク推進	300,000	169,968	△ 130,032
（７）親子で環境活動推進事業	300,000	225,280	△ 74,720
（８）プラスチックごみ削減事業	300,000	282,843	△ 17,157
（９）ふくいの環境を守るための資格取得支援事業	250,000	133,360	△ 116,640
（１０）カーボンニュートラル普及推進事業	450,000	130,610	△ 319,390
（１１）エコニュージェネ事業	100,000	57,250	△ 42,750
（１２）設立30周年記念事業	500,000	465,360	△ 34,640
Ⅱ 普及広報費	1,230,000	1,033,690	△ 196,310
Ⅲ 原補助事業	31,253,000	30,980,559	△ 272,441
（１）環境アドバイザー	1,196,000	1,026,360	△ 169,640
（２）リペア・リユース推進事業	249,000	219,256	△ 29,744
（３）家庭の省エネ推進事業	29,808,000	29,734,943	△ 73,057
繰出金	850,000	850,000	0
予備費	67,628	0	△ 67,628
計	38,800,628	36,401,655	△ 2,398,973

収入済額 38,064,691 円

支出済額 36,401,655 円

差引残額 1,663,036 円（次年度繰越金）

令和6年度 特別会計収支決算報告

1 特別積立金

収入の部

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
記念事業積立金（繰越金）	61,870	61,870	0	
繰入金	0	0	0	
諸収入	0	4	4	利息
計	61,870	61,874	4	

支出の部

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
繰出金	61,870	61,874	4	一般会計へ繰出し
計	61,870	61,874	4	

収入額－支出額＝残額

0 円

2 環境ふくい未来創造事業特別会計

収入の部

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
寄附金	400,000	275,070	△ 124,930	
繰入金	850,000	850,000	0	一般会計より
繰越金	5,023,715	5,023,715	0	
諸収入	40	2,284	2,244	利息
計	6,273,755	6,151,069	△ 122,686	

支出の部

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
環境ふくい未来創造事業助成金	6,000,000	1,480,000	△ 4,520,000	スタート総獲得(作 品優勝活動応援料3件)
予備費	273,755	0	△ 273,755	
計	6,273,755	1,480,000	△ 4,793,755	

収入額－支出額＝残額（次年度繰越金）

4,671,069 円

会計監査報告

環境ふくい推進協議会規約第11条第4項の規定により、令和6年度の事業及び会計執行状況について監査しましたので、その結果を下記のとおり報します。

令和 7 年 4 月 15 日

環境ふくい推進協議会

会長 吉田 真士 様

監 事

鈴木 秀治 

監 事

吉田 裕晃 

記

1 監査した書類等

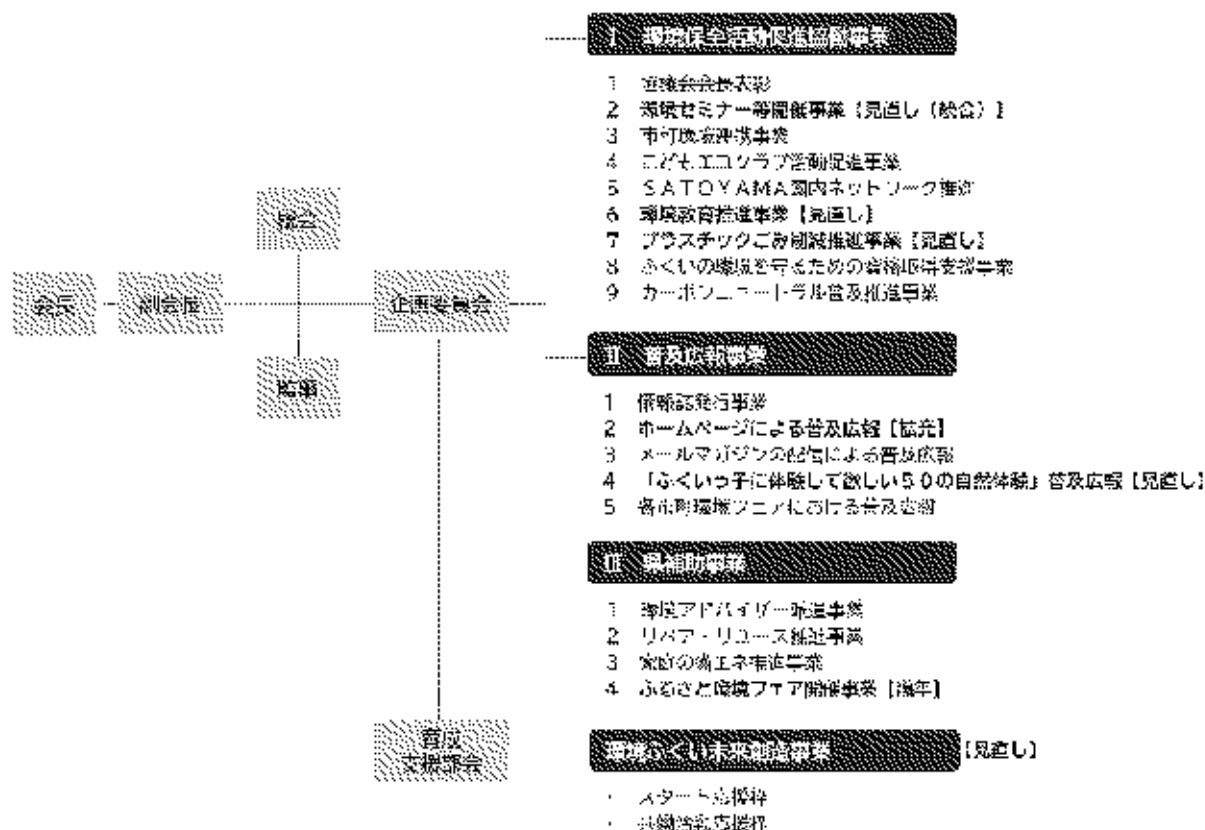
- (1) 令和6年度事業執行関係書類等
- (2) 会計書類帳簿書類等
 - (ア) 収入簿
 - (イ) 支出負担行為簿
 - (ウ) 支出命令決議書
 - (エ) 現金出納帳
 - (オ) 予算差引簿
 - (カ) 預金通帳
 - (キ) 金券（切手、収入印紙）

2 監査結果

上記諸帳簿について監査を行ったところ、事業の執行および会計経理は適正に処理されており、良好と認める。

令和7年度 事業計画（案）

環境ふくい推進協議会事業体系図



I 環境保全活動促進協働事業

1 協議会会長表彰

200 千円



【内容】 環境保全活動のより一層の推進を図るため、地道に環境保全活動に努められた団体等について総会時に表彰を行う。

2 環境セミナー等開催事業【見直し（ふくいまるごと環境学び舎＋環境マネジメント推進事業）】

880 千円



【内容】 会員向けの環境等について学ぶ講演やセミナー、先進的取組を行っている企業の見学会、環境団体の持続化・ビジネス化応援のための先進企業・団体の事例紹介や学習会等を開催する。

3 市町環境連携事業

900 千円



【内容】 市町および市町の推薦する民間団体が企画する事業に対しその一部を助成することにより、県内一円の環境保全活動の活性化を図る。

- 助成要件：環境保全に貢献する事業または県民の環境意識向上に寄与する事業
事業費が5万円超、各市町1件の枠
- 助成額：福井市 10万円
その他の市町 5万円

4 こどもエコクラブ活動促進事業

100 千円



〔内容〕 こどもエコクラブへの登録を呼びかけるとともに、活動しているクラブへの支援を行い活動の活性化を図る。

- 助成内容 壁新聞作成および活動に係る経費の支援
○助成額 1万円/クラブ（10クラブ想定）

5 SATOYAMA国内ネットワーク推進

200 千円

〔前年 300 千円〕



〔内容〕 本県の里山里海湖における生物多様性の保全や利活用の活動を国内のネットワークを通じて県外へアピールする。SATOYAMA イニシアティブ推進ネットワーク会員との交流会、情報交換等。

6 環境教育推進事業（旧：親子で環境活動推進事業）【見直し】

400 千円

〔前年 300 千円〕



〔内容〕 「ふくいっ子に体験してほしい50の自然体験」に関連する親子対象イベントや企業等と連携した環境イベント等を実施し、県下児童生徒およびその保護者に対する環境教育の推進を図る。

7 プラスチックごみ削減推進事業【見直し】

300 千円



〔内容〕 プラスチックごみ削減に向けた取組事例の実践を促すため、「プラスチックごみ削減フォトコンテスト」を開催する。

○時期：6月～8月

○対象など：特に若者・子育て世帯の親子を対象に、SNSを活用して実施

8 ふくいの環境を守るための資格取得支援事業

250 千円



〔内容〕 企業、団体会員が環境保全に関係する資格を取得する際の必要経費を補助する。
1団体につき上限5万円

9 カーボンニュートラル普及推進事業

320 千円

〔前年 450 千円〕



〔内容〕 協議会主催で会員を始め広く一般を対象にカーボンニュートラルカードゲーム体験会を提供する。また、会員がカードゲームファシリテーター資格を取得する際の費用の2分の1を補助する。

II 普及広報事業

2,650 千円

[前年 1,230 千円]



1 情報誌発行事業

[内容] 環境問題や環境教育に関する情報、事業者やボランティア団体等が行う環境保全活動などを紹介する情報誌を発行する。

○発行回数：1回（3月頃）

○発行部数：約 2,000 部（県職員等についてデータ配布の対象とする）

○配布先：協議会会員、小・中・高等学校、図書館、公民館等

2 ホームページ等による普及広報【拡充】

[内容] ホームページやInstagramを活用し、お知らせやイベント情報を積極的に発信していく。また、会員の活動動画等をYouTubeチャンネル等で発信する。あわせて、鉄道中吊広告等を利用し、環境フェアの宣伝も含め一般層への認知度向上を図る。

3 メールマガジンの配信による普及広報

[内容] メールマガジンにより、幅広く環境保全活動情報の提供を行う。

4 「ふくいっ子に体験して欲しい50の自然体験」普及広報【見直し】

[内容] 県・教育委員会と連携し、ふくい子どもたちに体験させたい50の自然体験項目についてのガイドブックのさらなる普及を図る。なお、電子化が普及したことにより、データによる配布に切り替える。（対象：県内の小学1年生～6年生）

5 各市町環境フェアにおける普及広報

[内容] 県内で開催される各市町の環境フェアにブース等を出展し、環境について県民に考えてもらう機会を提供するとともに、環境ふくい推進協議会の周知を図る。

III 県補助事業

1 環境アドバイザー派遣事業

1,692 千円

[1,196 千円]



[内容] 事業者、団体、学校、自治会等が開催する研修会へ講師（環境アドバイザー）を派遣する。アドバイザー報酬（5千円/回→1万円/回）および派遣回数の見直しに伴う増額。

2 リペア・リユース推進事業

249 千円



[内容] 壊れたものを修理して使う、いらなくなったものをほしい人に譲るなど、修理する文化、リサイクル文化の定着を目指した取り組みを実施する。

古本市、おもちゃの病院、おもちゃドクター養成講座、洋服・ぬいぐるみお直し隊養成講座などを開催。

3 家庭の省エネ（デコ活）推進事業

28,004 千円

[前年 29,808 千円]



[内容] 家庭部門のCO₂排出削減に向けて、省エネ行動に対するポイントの付与や自らの行動によ

るCO₂削減効果の見える化などを通じ、家庭でできる身近な省エネ活動に楽しく取り組む県民活動の輪を拡げていく。

4 ふるさと環境フェア開催事業【隔年】

6,321 千円



〔内容〕 県民への自然環境問題や地球温暖化防止対策の周知、循環社会の形成意識の醸成、生物多様性保全意識の定着のため、イベントを通じた環境学習の場として環境フェアを開催する。

○日 時：令和7年9月27日（土）

○会 場：ハピテラス、AOSSAアトリウム（1階・8階ロビー）

IV 環境ふくい未来創造事業【見直し】

〔特別会計〕 4,911 千円

〔前年 6,000 千円〕



〔内容〕 県民・事業者等から提供された資金により、福井県環境基本計画を推進する活動を行う団体を支援する。補助要件を一部見直し。

○スタート応援枠

・補助要件：1つの事業者が新たな事業を立ち上げる場合。ただし、組織を立ち上げてから5年未満の事業者については事業の新旧を問わない。

・補助額：上限20万円／年（1件につき連続3年まで）

○共働活動応援枠

・補助要件：2以上の事業者が共働して新たな事業を立ち上げる場合

・補助額：上限50万円／年（1件につき連続2年まで）

V 会 議 等

下記のとおり会議を開催する。

1 総 会

日 時：令和7年4月21日（月）14:00～15:15

会 場：福井県県民ホール

内 容：令和6年度事業報告および収支決算報告について
令和7年度事業計画（案）および収支予算（案）について

2 企画委員会（年4回程度開催）

3 育成支援部会（年2回程度開催）

令和7年度 一般会計収支予算(案)

第4号議案

収入の部

(単位：円)

項目	令和7年度予算額	令和6年度予算額	増 減
会費	1,900,000	2,400,000	△ 500,000
(1)個人会費	300,000	400,000	△ 100,000
(2)事業者会費	1,600,000	2,000,000	△ 400,000
負担金	3,400,000	3,400,000	0
(1)県	2,000,000	2,000,000	0
(2)市町	1,400,000	1,400,000	0
寄附金	0	0	0
繰入金	0	61,370	△ 61,370
諸収入	0	0	0
繰越金	1,663,036	1,685,758	△ 22,722
補助金	36,266,000	31,253,000	5,013,000
計	43,229,036	38,800,628	4,428,408

支出の部

項目	令和7年度予算額	令和6年度予算額	増 減
運営費	700,000	700,000	0
(1)総会費	300,000	300,000	0
(2)諸会議費	150,000	150,000	0
(3)事務費	250,000	250,000	0
事業費	42,466,000	35,283,000	7,183,000
Ⅰ 環境保全活動促進協働事業費	3,550,000	2,800,000	750,000
(1)協議会会長表彰	200,000	200,000	0
(2)環境セミナー等開催事業	880,000	0	880,000
(3)市町環境連携事業	900,000	900,000	0
(4)こどもエコクラブ活動促進事業	100,000	100,000	0
(5)SATOMI4国内ネットワーク推進	200,000	300,000	△ 100,000
(6)環境教育推進事業	400,000	300,000	100,000
(7)プラスチックごみ削減事業	300,000	300,000	0
(8)ふくいの環境をするための資格取得支援事業	250,000	250,000	0
(9)カーボンニュートラル普及推進事業	320,000	450,000	△ 130,000
Ⅱ 普及広報費	2,650,000	1,230,000	1,420,000
Ⅲ 県補助事業	36,266,000	31,253,000	5,013,000
(1)環境アドバイザー派遣事業	1,692,000	1,196,000	496,000
(2)リペア・リユース推進事業	249,000	249,000	0
(3)家庭の省エネ推進事業	28,004,000	29,808,000	△ 1,804,000
(4)ふるさと環境フェア開催事業	6,321,000	0	6,321,000
繰出金	0	850,000	△ 850,000
予備費	63,036	67,628	△ 4,592
計	43,229,036	36,900,628	6,328,408

令和7年度 特別会計収支予算（案）

環境ふくい未来創造事業特別会計

収入の部

（単位：円）

項 目	令和7年度予算額	令和6年度予算額	増 減	備 考
寄附金	250,000	400,000	△ 150,000	
繰入金	0	350,000	△ 350,000	一般会計より
繰越金	4,671,069	5,023,715	△ 352,646	
諸収入	500	40	460	料金
計	4,921,569	6,273,755	△ 1,352,186	

支出の部

（単位：円）

項 目	令和7年度予算額	令和6年度予算額	増 減	備 考
環境ふくい未来創造事業	4,500,000	6,000,000	△ 1,500,000	
予備費	421,569	273,755	147,814	
計	4,921,569	6,273,755	△ 1,352,186	